

令和7年9月16日

魚沼市議会議長 志田 貢 様

産業建設委員会
委員長 浅井 宏昭

産業建設委員会調査報告書

本委員会は、所管事務について下記のとおり調査したので、魚沼市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

- 1 調査事件名 (1) 現地調査について
(2) 現地調査の総括について
(3) その他

- 2 調査の経過 9月16日に委員会を開催し、現地調査及びその総括を行った。

産業建設委員会会議録

1 調査事件

(1) 現地調査について

① 深沢農園（舟山）

② 丸仙小林養鯉場（中家池平）

(2) 現地調査の総括について

(3) その他

2 日 時 令和7年9月16日 午前9時

4 場 所 本庁舎3階 委員会室

5 出席委員 関 武雄、浅井宏昭、遠藤徳一、関矢孝夫、本田 篤、志田 貢

6 欠席委員 なし

7 説明員 星産業経済部長、星野農政課長

8 書記 坂大議会事務局長、椛澤議会事務局次長

9 経 過

開 会 (9:00)

浅井委員長 定足数に達していますので、ただいまから産業建設委員会を開会いたします。

(1) 現地調査について

① 深沢農園（舟山）

② 丸仙小林養鯉場（中家池平）

浅井委員長 日程第1、現地調査についてを議題といたします。本日は、先週9月10日に発生した風雨被害について、急遽ではございますが所管委員会として現地調査を行うものがあります。現地調査は、2か所を予定しています。1か所目のユリについては舟山の深沢農園様にて、2か所目の養鯉については中家池平の丸仙小林養鯉場様にて、状況を調査いたします。皆様のお手元に資料があると思うんですけども、関委員からも資料をいただいで皆様に配付してあります。個人のお名前等もありますので、取扱いに注意して、参考資料としていただきたいと思います。

それでは、現地調査に出発しますので、1階の正面玄関に御参集願います。

しばらくの間、休憩とします。

休 憩 (9:01)

(休憩中、市内の現地調査)

再 開 (11:10)

浅井委員長 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

(2) 現地調査の総括について

浅井委員長 日程第2、現地調査の総括についてを議題とします。執行部から被害状況等について、補足説明等がありましたらお願いします。

星産業経済部長 まだ調査中で全部まとまっておられませんので、まとまり次第また委員会に報告させていただきます。

浅井委員長 それでは次に、委員の皆様から現地調査の報告や所感等について、お一人ずつ簡潔に発言をお願いいたします。関委員から願います。

関委員 自然災害とはいえ、予期せぬ出来事の対策として何があるかということで、これから議論しなければならないところです。なかなかいい方法がないのが実態かなと思っております。これどうでしょうか、防災無線がありますけれども、こういう強い雷雨とかの警戒情報を流すということは、前に私が要請したときは断られたんですけども、こういう人的な被害はなかったんですけども、それに近いような被害が予想されるときには必要性があるのではないかなと思っております。要検討になればありがたいと思います。

遠藤委員 生産者の情報もいただきまして、今日の視察に行けたのも大変勉強になったかなという感想であります。なかなか自分の取り組んでいる分野と違うときには、いろいろなことがあって、こういった形でまた委員会等を通じながらいろいろな状況を確認できるような場を提供いただけたらと、このように思っています。

生産者にとっては、かなりの被害額だったという感じが実感としてあります。自然災害という目に見えないもの相手ということで、今後の取組といってもそう提案があるわけではないんだろうと思いますけれども、やはり災害に強い生産も今後考えていく課題だと感じました。養鯉につきましても同じであります。今までなかったからということもあって、ああいった建物だったのだろうと思います。先ほど言った保険適用等の制度見直し等も含めて、今後議会が国や上に働きかけるには制度設計のことを言っていくこともまた大事な仕事になるという感じがいたしております。簡単ですが、以上になります。

本田委員 遠藤委員と全く同じ話でありますけれども、私自身も大変勉強になったところもありました。今回の被害ですけれども、制度の隙みみたいなところもあったのかなと思いますので、それが逆に我々ができることの一つかなとも思っております。また、支援というところでも、できるメニューというのは少ないかもしれませんが、支えることができるのであれば全力で支えるように我々も考えていかなければならないと思っております。以上です。

志田委員 自然災害がいつ、どこで、どのようなことが起こるか、分からないということを実感しました。舟山の方もおっしゃっていたように、普段雨、雷が来てほしいと思ってい

るところには来ないで、来たときにはこういう結末だという、今までも想像しないような災害がいつ、どこで起こるか分からない、そういったこともいい教訓になったのではないかと思います。皆さんが言っているように、制度づくりを一生懸命考えなければならないと感じました。以上です。

関矢委員　私も、舟山の災害については全然認知をしていませんでした。情報をいただいて今日見させてもらいました。大変な尽力でやられているということですし、養鯉池も私はその日に見させてもらったんですけども、こういうことがこれから先、毎年のようにスポット的な災害、被害が起きるのだろうなということは想定をしておかなければならないと思っております。そうしたときに、市としてどういう手を差し伸べるのかということ、支援ができるのかということも、しっかりとこれからは整備をしながらやっていかなければならないと思っております。今後の調査で、またその辺も執行部と協議をしていければと思っております。以上です。

浅井委員長　次に私のほうからですけれども、皆様からもありましたがこういった異常気象は毎年のように起こると想定して、災害に強い体制づくりとか制度設計がこれから絶対に必要になってくると思っておりますので、その辺に力を入れていかなくてはならないと思っておりました。

次に、執行部から感想等をお聞かせください。

星産業経済部長　今後の検討の話ですが、廃棄物の処分については今日の夕方、防災安全課と相談をする予定にしておりますし、養鯉池のハウスにつきましては今日の午後から、県も含めて再建にどんなことができるのかということ、相手が何を期待しているのかという部分も含めて、話し合う予定にしております。花の部分については、なかなか難しいのかなと思いましたが、いずれにしても行政として何ができるのかというのはこれから検討していきたいと考えております。

星野農政課長　私も部長の話とかぶる部分はございますけれども、被害があった翌日11日にちようどお昼前から、福祉文教委員会の日でございましたが、市長と一緒に現地視察で回ってまいりました。小林さんのところの養鯉施設、また舟山も含めて確認してきたところでありまして、既存事業の中では支援できる内容がないものですから、また県等も含めて検討してまいりたいということでございます。今ほど部長のお話の中で、本日午後から小林さんの養鯉施設に、農業振興部の副部長と一緒に、今後の考え方等について相談に行ってくる予定となっております。農業振興部につきましては、この水産施設は直接的な所管ではないものですから、一旦話を聞いて、そういった水産関係は全て県の本庁が直の担当になるものですから、そこへの要望等を含めて午後お話を聞いた中で作戦を考えていきたいと思っております。以上です。

浅井委員長　それでは、現地調査の総括は会議録の記録をもって代えさせていただきたいと思っております。本件につきましては、現在担当課が被害の調査中ということもありますので、引き続き調査をするということで御異議ありませんでしょうか。(異議なし) そのように決定いたしました。

(3) その他

浅井委員長　　日程第3、その他についてを議題とします。執行部から報告事項等はありませんか。(なし)委員の皆様から御意見、協議事項等はありませんか。(なし)それでは、なしということですので、本日の会議録の作成につきましては、委員長に一任願います。本日の産業建設委員会は、これにて閉会いたします。

閉　　会 (11 : 19)

産業建設委員会

委員長 浅井 宏昭